


フライヤーデザイン：真雄大

会期	2022年10月15日(土)～12月11日(日)
開館時間	(平日) 午前11時～午後7時 (土・日・祝日) 午前10時～午後6時
会場	A-LAB (えーらぼ) 尼崎市西長洲町 2-33-1
休館日	火曜日
入場料	無料
主催	尼崎市
協力	Maki Fine Arts、rin art association、 

開催要旨

私たちは普段、どのように、どれくらい、なにを見て、そこからなにを感じて生きているでしょうか。自分が自分だけでは存在しないのと同じで、私たちは自分の目で見えなにかを見ているようで、自分の目だけでなにかをとらえることは難しい。必ず他者の影響を受けていて、また自分自身も他者に影響を与える要素の一部なのでしょう。自分と世界の境界線の曖昧さは、自分の姿もぼやけさせてしまう。実は視覚はそんなに頼れるものではないのかもしれない。目に見えるものがすべてではない。「目で目は見えぬ」けれども、この世界の中に自分は確かに存在している。この展覧会で、加納俊輔、堀川すなお、吉野ももの3名の作品を通して、自分と世界のつながり、目に見えるもの以上のなにかを感じていただくと幸いです。

みどころ

「オンライン」の時代に視覚の可能性を問う展覧会

コロナ禍において「オンライン」での交流が増えるなか、視覚以外の感覚が閉ざされた状態の時、視覚の頼りなさを感じることはないでしょうか。作品を見ながら、目に見えるもの以上のものを感じてください。

今注目を集める新進アーティスト3名が参加

令和3（2021）年に京都市京セラ美術館ザ・トライアングルで個展を開催した加納俊輔、令和3（2021）年に岡本太郎現代美術賞に入選した堀川すなお、令和4（2022）年に三越コンテンポラリーギャラリーで個展を開催し、メディアでも多数取り上げられている吉野もも。今注目を集める3名によるグループ展です。

元公民館のA-LABならではの空間で、日常空間とつながる展示

美術館やギャラリーのような展示スペースとは異なるA-LABで、日常の延長線上に展示される作品をお楽しみください。

関連イベント

トークイベント

11月27日（日）午後2時～午後4時、美学・感性学を専門とする近畿大学 文芸学部 文化デザイン学科准教授の岩城覚久氏と、追手門学院大学 社会学部 社会学科教授松谷容作氏をゲストに迎え、出展作家とのトークイベントを開催いたします。

各々の作品やゲストの研究分野について紹介いただいた後、視覚を通じた感性のあり方やその変化についてディスカッションいただく予定です。

定員先着15人。メール（amalove.a.lab@gmail.com）で申込必要。



岩城覚久 Iwaki Akihisa

近畿大学文芸学部文化デザイン学科准教授

専門：感性学

共著書に『Virtual Images:Trilogy of Synthetic Realities(Buechner-Verlag)』などがある。



松谷容作 Matsutani Yosaku

追手門学院大学社会学部社会学科教授

専門：美学

共著論文として『Living Images,Inert Humans:Vitality of the Images Appearing in Chromatophony and A Wave(The proceedings of The Sixth Transdisciplinary Imaging Conference:Dark Eden)』などがある。

【トークイベントに参加申込する場合】

※関連イベントはすべて参加費無料です。

申込みはメールでA-LABへ。イベント当日は直接会場(A-LAB)へお越しください。メールでお申し込みの場合は、下記メールアドレスまでイベント名・氏名・年齢・電話番号・人数を明記ください。

A-LAB メールアドレス

amalove.a.lab@gmail.com

詳細は A-LAB ホームページ (<http://www.ama-a-lab.com>) をご覧ください。

広報用画像

・このプレスリリースに掲載されている画像データ(※11～15ページ参照)をプレス掲載用にご用意しております。

・下記の使用条件をご了承の上、A-LAB までお申し込みください。

使用条件：

・広報画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットをご表示ください。

・トリミングや画像加工などはご遠慮ください。

・アーカイブのため、後日掲載紙、URL などをお送りください。

以上、ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

問い合わせ先

尼崎市文化振興課（平日 8 時 45 分～午後 5 時 30 分のみ）

担当：金子松、原田

電話 06-6489-6385 / FAX 06-6489-6702

A-LAB（火曜日休館）担当：八木、高岡

電話 / FAX 06-7163-7108 メール amalove.a.lab@gmail.com

作家略歴

■加納 俊輔（かのう しゅんすけ）

1983年 大阪府生まれ。
2010年 京都嵯峨芸術大学大学院芸術研究科修了。
現在、京都在住。



撮影：迫鉄平

写真（を撮る／を視る）を主なメディアとして扱い、イメージと物質の関係性についての考察を軸に、「視る」という体験を捉え直す試みとして平面、立体、映像と多岐の表現形態で展開している。

【受賞歴】

2021 「Kyoto Art for Tomorrow 2021 —京都府新鋭選抜展—」朝日新聞社賞
2011 「第15回岡本太郎現代芸術賞展」入選
2011 「CANON: 写真新世紀 2011」佳作 / 清水穰 選

【主な個展】

2021 「サンドウィッチの隙間」、京都市京セラ美術館 ザ・トライアングル、京都
2021 「滝と関」、Maki Fine Arts、東京
2021 「圧縮トレーニング」、clinic、東京
2020 「カウンタープログラム」、Art-Space TARN、奈良
2019 「Abandoned In Da Streetz」、y gion、京都
2018 「Pink Shadow」Maki Fine Arts、東京
2018 「stone age in the woods」、RC Hotel、京都
2017 「Riverside Time」、MSC ギャラリー同志社女子大学京田辺キャンパス、京都
2016 「コンストラクション断面」、Maki Fine Arts、東京
2016 「Floating Fountain」、space_inframince、大阪
2015 「Cool Breeze On The Rocks」、Maki Fine Arts、東京
2014 「ファウンテン マウンテン」、Maki Fine Arts、東京
2014 「ジェンガと噴水」、shiseido gallery、東京
2013 「バウムクーヘンとペタっとした表面」、Maki Fine Arts、東京
2011 「ワープトンネル」、Gallery PARC、京都

【主なグループ展】

2021 「Kyoto Art for Tomorrow 2021 —京都府新鋭選抜展—」、京都文化博物館、京都
2021 「Super-fine」、イルミン美術館、ソウル、韓国
2021 「Moving Images」、EUKARYOTE、東京
2021 「eeny, meeny, miny, moe | green」、eN arts、京都
2020 「踊り場と耕作」、HOTEL ANTEROOM GALLERY9.5、京都
2020 「音羽川百景 2020」、音羽川砂防ダム周辺、京都
2020 「Winter Show」、Maki Fine Arts、東京
2019 「MOT アニュアル 2019 Echo after Echo : 仮の声、新しい影」、東京都現代美術館、東京
2019 「フライング・ヴァンダーカンマー」、toberu、京都
2019 「POSTERS」、複眼ギャラリー、大阪
2019 「THE COPY TRAVELERS の A 室」、galerie16、京都
2019 「雲型定規がヤマをはる」、Sprout Curation、東京

作家略歴

- 2018 「音羽川百景」、音羽川砂防ダム周辺、京都
 2018 「早川祐太 × 高石晃 × 加納俊輔 [三つの体、約百八十兆の細胞]」、FLAG STUDIO、大阪
 2018 「鉄道芸術祭 vol.8 超・都市計画 ～そうならうとする CITY～」、アートエリア B1、大阪
 2018 「WALKING, JUMPING, SPEAKING, WRITING」、SeMA STORAGE、ソウル、韓国
 2018 「The Scrap 2018」、Culture Station Seoul 284、ソウル、韓国
 2017 「VOCA 展 2017 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」、上野の森美術館、東京
 2016 「AKZIDENZ」、青山 | 目黒、東京
 2016 「PAT in Kyoto」、京都市美術館、京都
 2016 「水に浮かんだフォーシーム」、eN arts、京都
 2016 「ストーブリーグ 2016」、Division、VOU、京都
 2015 「藪の中」、Galerie Aube、京都
 2015 「SHASHIN! Japanese Photography Then/Now」、Sotheby's Hong Kong Gallery、香港
 2015 「早川祐太 × 高石晃 × 加納俊輔 [三つの体、約百八十兆の細胞]」、500m 美術館、北海道
 2015 「How to draw the line」、Maki Fine Arts、東京
 2015 「写真の使用法—新たな批評性に向けて」、東京工芸大学中野キャンパス 3 号館ギャラリー、東京
 2015 「THE COPY TRAVELERS by THE COPY TRAVELERS」、NADiff gallery、東京
 2014 「TOKYO 2020 BY JAPANESE PHOTOGRAPHERS #2」、yellow Koner pompidiou、パリ、フランス
 2014 「架設 | この物質はイメージです」、京都精華大学 T-101、京都
 2014 「これからの写真」、愛知県美術館、愛知
 2014 「助手展 2014」、武蔵野美術大学 美術館・図書館、東京
 2014 「eeny, meeny, miny, moe | red」、eN arts、京都
 2014 「Winter Show」、Maki Fine Arts、東京
 2013 「:No subtitle」、HAGIWARA PROJECTS、東京
 2013 「Actual Exhibition #2」、TURNER GALLERY、東京
 2013 「AT PAPER. Exhibition "09"」、HOTEL ANTEROOM GALLERY9.5、京都
 2013 「Light & Blindness」、Maki Fine Arts、東京
 2012 「かげうつし - 写映・遷移・伝染 -」、@KCUA、京都
 2012 「横浜フォトアートコレクション」、横浜ホームコレクション、神奈川
 2012 「加納俊輔 × 高橋耕平 『パズルと反芻』"Puzzle & Rumination"」、island MEDIUM, NADiff window gallery, 実家 | JIKKA、東京
 2012 「SHOWCASE#1 curated by minoru shimizu」、eN arts、京都
 2012 「Emotion Release :reprise」、成安造形大学ギャラリーアートサイト、滋賀
 2012 「第 15 回岡本太郎現代芸術賞展」、川崎市岡本太郎美術館、神奈川
 2012 「Redefining the Multiple:13 Japanese Printmakers」、Ewing Gallery, UT Downtown Gallery、テネシー、アメリカ
 2011 「加納俊輔 × 高橋耕平 『パズルと反芻』"Puzzle & Rumination"」、Social Kitchen, LABORATORY, Division、京都
 2011 「CANON: 写真新世紀 2011 東京展」、東京都写真美術館、東京

【上演作品】

2015 「山びこのシーン」、京都芸術劇場 春秋座、京都

【パフォーマンス】

2015 「味の断面」、旧所沢市立第2学校給食センター（引込線 2015 展覧会会場）、埼玉

作家略歴

■堀川 すなお（ほりかわ すなお）



2008年 クーパーユニオン芸術大学交換留学、ニューヨーク
 2010年 京都精華大学 芸術学部造形学科洋画専攻 卒業
 2012年 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻油画領域 修了
 2015-2016年 平成27年度 ポーラ美術振興財団在外研修員としてニューヨークにて滞在制作

私たちは世界をどのように捉えているのか、
 そして他者とどのように捉えた世界を共有しているのかを、描くことを通して探っている。

【受賞歴】

2017「清流の国ぎふ芸術祭 ART AWRD IN THE CUBE 2017」入選
 2015「群馬青年ビエンナーレ 2015」奨励賞

【主な個展】

2021「分かろうとしようとする行為」、東大阪市文化創造館、大阪
 2021「解釈と行為 SEEING AND PRACTICING#3」、ex-chamber museum、東京
 2020「解釈と行為 SEEING AND PRACTICING#2」、FINCH ARTS、京都
 2019「Sunao Horikawa Window Display Work」、ポーラ ザ ビューティー銀座、東京
 2018「観察と記録 OBSERVATION AND RECORDATION」、青春画廊、京都
 2016「ある視点 A Certain Point of View/ PONT15」、FINCH ARTS、京都
 2016「The thing」、Studio 32、ニューヨーク、アメリカ
 2015「解釈と行為 SEEING AND PRACTICING」、大阪府江之子島文化芸術創造センター Room.2、大阪
 2014「クリテリオム 87 堀川すなお」、水戸芸術館現代美術ギャラリー第9室、茨城
 2009「descriptive geometries」、Kodama Gallery、京都

【主なグループ展】

2022「DRAWINGS」、ex-chamber museum、東京
 2021「Kyoto Art for Tomorrow 2021 京都府新鋭選抜展、京都文化博物館別館、京都
 2021「Symptoms」アールスペース感、京都
 2020「3331 ART FAIR / 3331 art chiyoda」、東京（高橋瑞木氏推薦）
 2020「Rolin' Rolin' / FINCH ARTS」、京都
 2019「チョウカイホウセイサクシツ」、京都駅ビル、京都
 2019「京都アトラウンジ」、スターバックス コーヒー 京都三条大橋店 B1、京都
 2019「Still Life & paper works」、ex-chamber museum、東京
 2019「Exploring - 共通するものからみつける芸術のかげら」、江之子島文化芸術創造センター enoco、大阪
 2019「BRICK -KEIKO SATO TRIBUTE EXHIBITION-」、Art Spot Korin、京都
 2019「"Painting made" 2019 FINCH ARTS Summer show」、FINCH ARTS、京都
 2019「Mechanical Sensations」、A/D gallery (ROPPONGI HILLS ART&DESIGN STORE)、東京
 2019「ARTIST FAIR KYOTO 2019」、京都府京都文化博物館 別館、京都（塩田千春氏推薦）
 2019「ここが浄土か。」、FINCH ARTS、京都
 2018「未完の庭、満ちる動き」、青森公立大学国際芸術センター青森、青森

作家略歴

- 2018 「ARTIST FAIR KYOTO2018」京都府京都文化博物館 別館、京都（塩田千春氏推薦）
- 2018 「ART TOKYO」、東京国際フォーラム、東京（ポーラ美術財団より参加）
- 2018 「ポーラミュージアムアネックス展」、ポーラミュージアムアネックス、東京
- 2017 「OPEN HOUSE」、青春画廊、京都
- 2017 「清流の国ぎふ芸術祭 ART AWRD IN THE CUBE 2017」、岐阜県美術館、岐阜
- 2017 「echo of the echoes」、西武渋谷店 B 館 8 階 美術画廊・オルタナティブスペース、東京
- 2016 「THE OPENING/ PONT15」、FINCH ARTS、京都
- 2016 「QUESTION of the FUTURE 京都精華大学卒業生ファイル 2016 —未来の問い」、京都精華大学ギャラリーフロール、京都
- 2016 「作品中！アゲイン」、ギャラリー 16、京都
- 2015 「Art Court Frontier 2015 #13」、Art court Gallery、大阪（吉岡恵美子氏推薦）
- 2015 「京銀コレクションの 15 年」、京都銀行 金融大学校 桂川キャンパス 大ホール、京都
- 2015 「群馬青年ビエンナーレ 2015」、群馬県立近代美術館、群馬
- 2014 「木津川アート 2014~ 百年の邂逅 ~」、木津川市旧漁業組合事務所、京都
- 2013 「科学のあとに詩をかくこと」、京都精華大学 7 号館 7-23 ギャラリー、京都
- 2012 「VOCA 展—新しい平面の作家たち 2012」、上野の森美術館、東京（高橋瑞木氏推薦）
- 2012 「アートアワードトーキョー丸の内 2012」、行幸地下通路・ギャラリー、東京
- 2012 「視域」、京都精華大学 7 号館 7-23 ギャラリー、京都
- 2011 「G tokyo 2011」、森アーツセンターギャラリー、東京
- 2011 「作品中！」、ギャラリー 16、京都
- 2011 「ignore your perspective 11」、Kodama Gerelly、東京
- 2010 「蓄積による絵画」、ギャラリー 16、京都
- 2010 「DON'T FREEZE」、くずはアートギャラリー、大阪
- 2010 「三人展」、京都市立芸術大学小ギャラリー、京都
- 2008 「Method for seeing distant place 展」、ART SPACE 其の延長、京都
- 2008 「NEW WORK」、グレートホールギャラリー、ニューヨーク、アメリカ
- 2008 「POP exhibition」、ギャラリー RAKU でのサテライト . バー超能力、京都
- 2008 「opening no selection」、バー超能力、京都
- 2008 「Method for seeing distant place 展」、ART SPACE 其の延長、京都

作家略歴

■吉野 もも（よしの もも）



撮影：大森大祐

1988年 東京都生まれ。
 2012年 多摩美術大学 絵画学科 油画専攻 卒業
 2014年 イギリス ロイヤルアカデミースクール ファインアート科 交換留学
 2015年 東京藝術大学大学院 美術研究科 油画専攻 修士課程 修了

視覚的な仕掛けを利用した描写で、絵画とその周りの環境との関係性を探究する。折り紙をモチーフに、まるで立体的にそこに在るかのように精緻に表現した「Kami」シリーズや、空間を拡張するかのように奥行きや立体感を創りだす壁画、インスタレーションなどの制作を行う。

【受賞歴】

2015 「TURNER AWARD 2014」 未来賞
 2015 「神山財団芸術支援プログラム第一回卒業成果展」 神山賞
 2014 「TURNER AWARD 2013」 未来賞
 2012 「多摩美術大学卒業制作」 福沢一郎賞
 2012 「GTS AWARD」 奨励賞
 2009 「via art 2009」 KURATA 賞

【主な個展】

2022 「Make It Simple」、三越コンテンポラリーギャラリー、東京
 2018 「being」、rin art association、高崎
 2017 「Link」、西武渋谷店 全館プロモーション、東京
 2017 「Metamorphose」、SHOWROOM、台北
 2015 「Transformation」、Hasu no hana、東京
 2013 「間」、Hasu no hana、東京
 2013 「空と実(くうとじつ)」、Gallery APA、名古屋

【主なグループ展】

2021 「Encounters in Parallel」、ANB Tokyo、東京
 2021 「アルスくん&テクネちゃん パラレル・アートパーク」、バーチャル渋谷区立宮下公園
 2020 「天王洲アートフェスティバル」、天王洲、東京
 2020 「アートプロジェクト高崎」、高崎、群馬
 2020 「nine colors XIV」、西武渋谷店美術画廊、東京
 2019 「画のなかとそと」、ANA インターコンチネンタルホテル東京、東京
 2019 「正しい歪み方」、KOGANEI ART SPOT シャトー 2F、東京
 2018 「多摩美術大学助手展」、多摩美術大学アートテーク、東京
 2017 「A LITTLE WEIRD」、ISETAN The Japan Store Kuala Lumpur、クアラルンプール
 2016 「台湾・日本・現代絵画の未来と可能性」、東京藝術大学大学美術館陳列館、東京
 2016 「nine colors X」、西武渋谷店美術画廊、東京
 2015 「黄金町通路 再訪」、黄金町 高架下スタジオ Site-A ギャラリー、神奈川
 2015 「PAPER DRAWINGS」、ギャラリーなつか、東京
 2015 「シブヤスタイル vol.9」、西武渋谷店美術画廊、東京

作家略歴

2013 「吉原芸術大サービス」、吉原神社他、東京
2013 「ハギエンナーレ 2013 “Third Life”」、HAGISO、東京
2013 「CONSTELLATIONS」、blanc gallery、マニラ、フィリピン
2012 「黄金町バザール 2012」、黄金町、神奈川

【アーティストインレジデンス】

2019 「Luxelakes A4 Art Museum」、成都、中国

【パブリックコレクション】

神山財団
ガトーフェスタ ハラダ

【コミッションワーク】

2021 TOKYO TORCH Park、路面ペインティング
2021 TOKYO TORCH 常盤橋タワー、作品設置企業オフィス、壁画、川崎
2018 企業サロン、作品設置、東京

参考図版



1



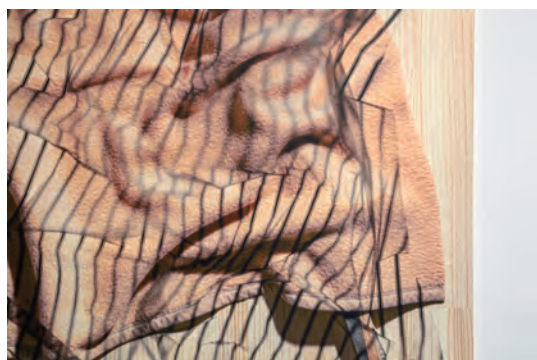
2



3



4



5



6

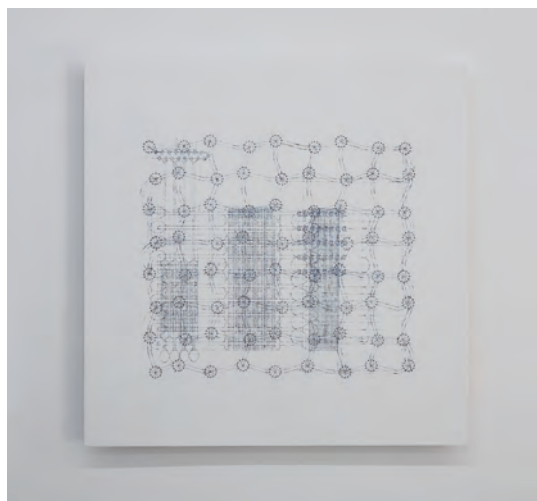
参考図版



7



8



9



10



11

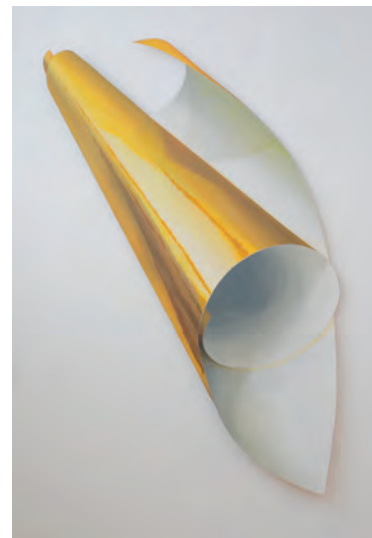


12

参考図版



13



14



15



15



16

参考図版



17



18



19



19



19



20

参考図版

1. 加納俊輔 | 『Pink Shadow_40』 | 2021
2. 加納俊輔 | 『Pink Shadow_42』 | 2021
3. 加納俊輔 | 『Pink Shadow_43-72』 | 2021 | 撮影：来田猛
4. 加納俊輔 | 『Pink Shadow_23』 | 2020
5. 加納俊輔 | 『Pink Shadow_23』(部分) | 2020
6. 加納俊輔 | 『Cool Breeze On The Rocks_03(tango)』 | 2021 | 撮影：来田猛
7. 加納俊輔 | 『layer of my labor_123(drawing, patty on stone)』 | 2021 | 撮影：来田猛
8. 加納俊輔 | 『圧縮トレーニング_DSC6540』 | 2021 | 撮影：来田猛
9. 堀川すなお | 『バナナ #553. “バナナ #3.(28)F. 観察；日本人 #1” google 翻訳、読み；トルコ人 / トルコ共和国 (33)#1F.2010-11』 | 2020 | 撮影：前谷開
10. 堀川すなお | 『ラグビーボール #1.18.5..10 + Sof I Har. 触一目 . Org: Top』 | 2019 | 撮影：表恒匡
11. 堀川すなお | 『ラグビーボール #1.18.5..10 + Sof I Har. 触一目 . Org: Top』(詳細) | 2019 | 撮影：表恒匡
12. 吉野もも | 『間』 | 2013
13. 吉野もも | 『Enlighten a city through History』 | 2020 | 高崎 | 撮影：木暮伸也
14. 吉野もも | 『Kami #6』 | 2015
15. 吉野もも | 『Kami #62 -swirling water-』 | 2020 | 撮影：関根梓
16. 吉野もも | 『Kami #69』 | 2021 | 撮影：木暮伸也
17. 吉野もも | 『Kami #71』 | 2021 | 撮影：木暮伸也
18. 吉野もも | 『Kami #73』 | 2021 | 撮影：木暮伸也
19. 吉野もも | 『Kami #88』 | 2022 | 撮影：木暮伸也
20. 吉野もも | 『Rivers Crossing』 | 2021 | TOKYO TORCH Park | 撮影：川瀬一絵

次回展

「はしもとみお個展 いきものたちとの暮らし」(仮称)

会期：2023年1月4日(水)ー1月29日(日)

幼少期から10代を尼崎で過ごした木彫作家、はしもとみおの個展を開催します。尼崎のまちや、自然のなかで暮らすいきものたちの様子をお届けします。

